

第1章 現況の整理

1. 人口

(1) 人口・世帯数の推移

国勢調査における嘉手納町の人口は、平成22年現在13,827人である。過去からの推移をみると、昭和60年から平成17年までは減少傾向となっているが、平成17年以降は増加傾向となっている。

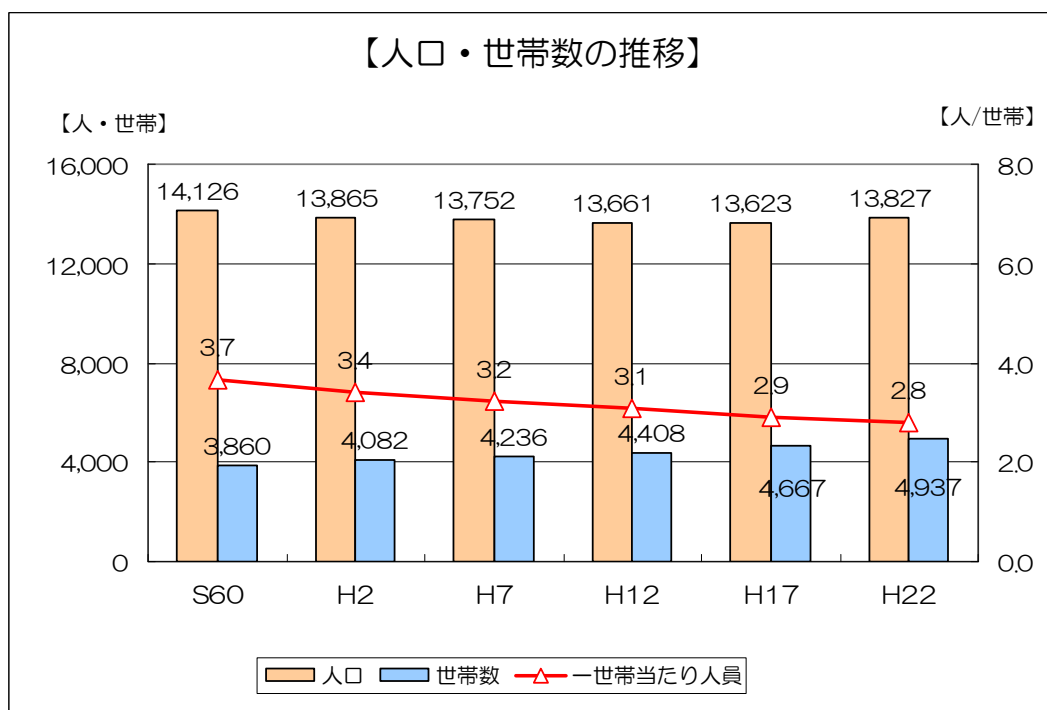
世帯数は、平成22年現在4,937世帯である。過去からの推移をみると、昭和60年から平成22年の25年間に1,077世帯増加している。

一世帯当たり人員は、昭和60年の3.7人から年々減少し、平成22年には2.8人となっており、25年間で0.9人の減少となっている。

■国勢調査における人口・世帯数の推移

	S60	H2	H7	H12	H17	H22
人口	14,126	13,865	13,752	13,661	13,623	13,827
世帯数	3,860	4,082	4,236	4,408	4,667	4,937
一世帯当たり人員	3.7	3.4	3.2	3.1	2.9	2.8
人口増加率	-	-1.8%	-0.8%	-0.7%	-0.3%	1.5%
世帯増加率	-	5.8%	3.8%	4.1%	5.9%	5.8%

資料：国勢調査



(2) 年齢別人口

平成22年の嘉手納町における年齢別人口は、年少人口(0～14歳)2,399人(17.4%)、生産年齢人口(15～64歳)8,515人(61.6%)、高齢人口(65歳以上)2,913人(21.1%)となっている。

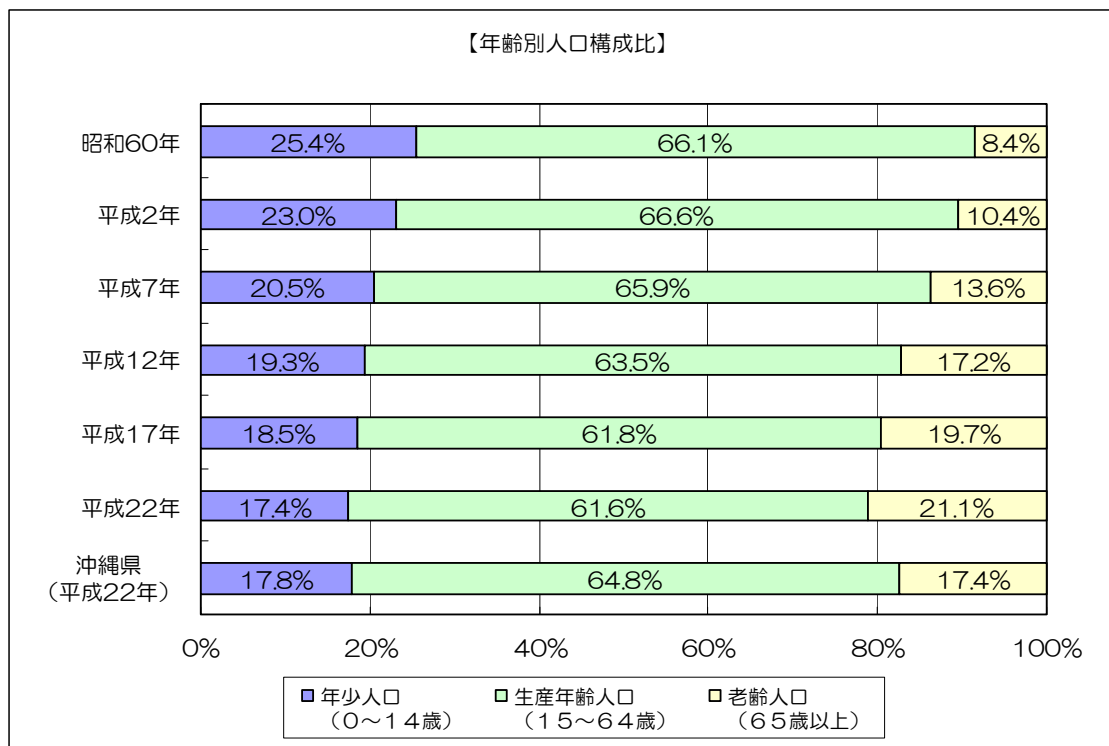
昭和60年からの推移をみると、年少人口は昭和60年から平成22年までの25年間で1,196人減少している。生産年齢人口も年々減少傾向にあり、昭和60年から平成22年までの25年間で823人減少している。高齢人口は年々増加傾向にあり、昭和60年から平成22年までの間で1,720人増加している。

平成22年の構成比を沖縄県(平成22年)と比較すると、高齢人口は3.7ポイント沖縄県より高く、年少人口は0.4ポイント、生産年齢人口は3.3ポイント沖縄県より低く、沖縄県平均よりも若干、少子高齢化が進行している。

■年齢3区分別人口の推移

		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	沖縄県 (平成22年)
総人口		14,126	13,865	13,752	13,661	13,623	13,827	1,384,780
年少人口 (0～14歳)	人口	3,595	3,192	2,817	2,637	2,523	2,399	246,313
	構成比	25.4%	23.0%	20.5%	19.3%	18.5%	17.4%	17.8%
	増減率	-	-11.2%	-11.7%	-6.4%	-4.3%	-4.9%	-
生産年齢人口 (15～64歳)	人口	9,338	9,237	9,061	8,669	8,417	8,515	897,960
	構成比	66.1%	66.6%	65.9%	63.5%	61.8%	61.6%	64.8%
	増減率	-	-1.1%	-1.9%	-4.3%	-2.9%	1.2%	-
高齢人口 (65歳以上)	人口	1,193	1,436	1,874	2,355	2,683	2,913	240,507
	構成比	8.4%	10.4%	13.6%	17.2%	19.7%	21.1%	17.4%
	増減率	-	20.4%	30.5%	25.7%	13.9%	8.6%	-

資料：国勢調査



(3) 産業別人口

平成22年における嘉手納町の産業別人口は、第3次産業（3,723人、80.0%）が最も多く、次いで第2次産業（856人、18.4%）、第1次産業（77人、1.7%）の順となっている。

第1次産業をみると、昭和60年から平成22年にかけて年々減少傾向となっている。

第2次産業をみると、平成2年から平成22年にかけて年々減少傾向となっている。

第3次産業をみると、平成2年から平成22年にかけて年々増加傾向となっている。

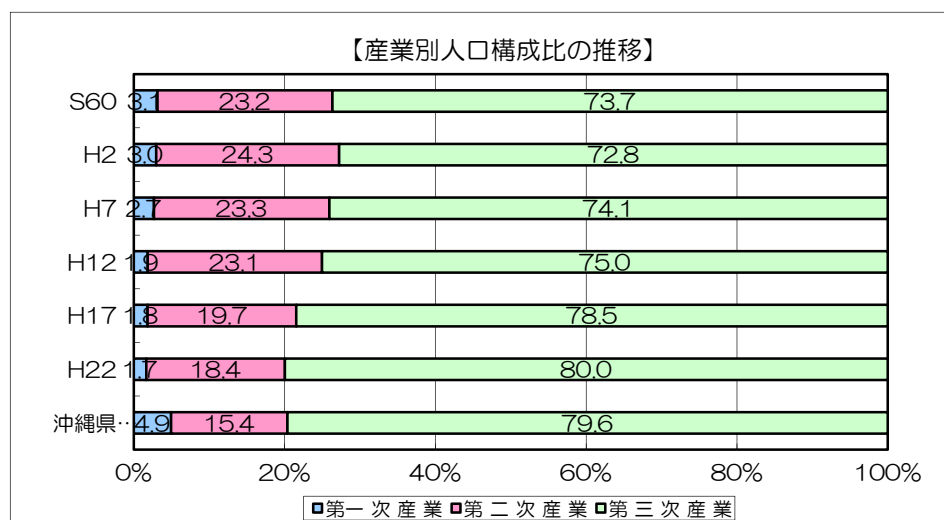
平成22年（沖縄県平均）と比較すると、「建設業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「サービス業（他に分類されないもの）」「公務」の構成比については、嘉手納町の方が高い状況にある。

■産業別就業者数の推移 (単位：人、%)

	S60		H2		H7		H12		H17		H22		H22（沖縄県平均）	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
農 業	174	2.9	154	2.8	139	2.6	90	1.7	80	1.7	70	1.5	562	4.4
林 業	3	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	1	0.0	5	0.0
水 産 業	14	0.2	11	0.2	5	0.1	7	0.1	8	0.2	6	0.1	66	0.5
第 一 次 産 業	191	3.1	166	3.0	144	2.7	98	1.9	88	1.8	77	1.7	633	4.9
鉱 業	4	0.1	7	0.1	4	0.1	8	0.2	3	0.1	2	0.0	6	0.0
建 設 業	1,111	18.3	1,059	19.0	1,022	19.0	944	17.9	769	15.9	636	13.7	1,294	10.1
製 造 業	296	4.9	285	5.1	227	4.2	267	5.1	182	3.8	218	4.7	678	5.3
第 二 次 産 業	1,411	23.2	1,351	24.3	1,253	23.3	1,219	23.1	954	19.7	856	18.4	1,978	15.4
卸・小売業・飲食店	1,534	25.2	1,523	27.3	1,423	26.4	1,454	27.6	1,341	27.7	-	-	-	-
卸売業、小売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	767	16.5	2,107	16.5
宿泊業、飲食サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	426	9.1	1,141	8.9
金融・保険	115	1.9	141	2.5	131	2.4	106	2.0	78	1.6	61	1.3	273	2.1
不動産業	56	0.9	77	1.4	45	0.8	47	0.9	60	1.2	-	-	-	-
不動産業、物品賃貸業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	1.9	264	2.1
運輸・通信業	291	4.8	274	4.9	257	4.8	250	4.7	243	5.0	-	-	-	-
運輸業、郵便業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	186	4.0	686	5.4
情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	1.6	280	2.2
電気・ガス・水道業	67	1.1	68	1.2	55	1.0	40	0.8	30	0.6	-	-	-	-
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	0.6	75	0.6
サービス業	1,425	23.4	1,690	30.3	1,820	33.8	1,804	34.2	1,767	36.5	-	-	-	-
学術研究、専門・技術サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	121	2.6	388	3.0
生活関連サービス業、娯楽業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	288	6.2	573	4.5
教育、学習支援業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	209	4.5	728	5.7
医療、福祉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	510	11.0	1,712	13.4
複合サービス事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	0.6	93	0.7
サービス業（他に分類されないもの）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	639	13.7	1,111	8.7
公 務	992	16.3	279	5.0	258	4.8	257	4.9	276	5.7	298	6.4	765	6.0
第 三 次 産 業	4,480	73.7	4,052	72.8	3,989	74.1	3,958	75.0	3,795	78.5	3,723	80.0	10,196	79.6
総 数	6,082	100.0	5,569	100.0	5,386	100.0	5,275	100.0	4,837	100.0	4,656	100.0	12,807	100.0
分類不能の産業	34	-	1	-	1	-	2	-	46	-	413	-	1,230	-

資料：国勢調査報告（総務省統計局）

※総数に分類不能の産業は含まない。



(4) 夜間人口及び昼間人口

嘉手納町の夜間人口及び昼間人口は、男女共に昼間人口の方が多い状況にある。平成22年においては平成12年比較で657人増え、昼夜間人口比率も114.9で3.4ポイント増えている。

14歳未満では45名多く、民間幼児教育機関への通学がその要因と考えられる。25歳から69歳では各年齢で昼間人口が多く、仕事で通勤している方が多いものと考えられる。

昼夜間人口比率の114.9は恩納村(120.0)西原町(118.9)について高い値となっている。

■夜間人口及び昼間人口

	平成12年	平成17年	平成22年
夜間人口	13,661	13,623	13,827
昼間人口	15,230	15,445	15,887
増減 昼-夜	1,569	1,822	2,060
夜間人口に 対する比率	111.5%	113.4%	114.9%

資料：国勢調査

■昼夜間人口比率（周辺市町村）【H22】

	総人口	昼間人口	昼夜間人口 比率
嘉手納町	13,827	15,887	114.9%
沖縄市	130,249	128,607	98.7%
うるま市	116,979	109,341	93.5%
恩納村	10,144	12,174	120.0%
読谷村	38,200	32,604	85.4%
北谷町	27,264	27,696	101.6%
北中城村	15,951	14,746	92.4%
中城村	17,680	15,113	85.5%
西原町	34,766	41,339	118.9%

資料：国勢調査

■夜間人口及び昼間人口（平成22年）

	男性				女性				合計			
	夜間人口	昼間人口	増減 昼-夜	夜間人口に 対する比率	夜間人口	昼間人口	増減 昼-夜	夜間人口に 対する比率	夜間人口	昼間人口	増減 昼-夜	夜間人口に 対する比率
15歳未満	1,269	1,293	24	101.9%	1,130	1,151	21	101.9%	2,399	2,444	45	101.9%
15～19歳	465	454	-11	97.6%	446	430	-16	96.4%	911	884	-27	97.0%
20～24歳	366	315	-51	86.1%	353	342	-11	96.9%	719	657	-62	91.4%
25～29歳	340	429	89	126.2%	384	420	36	109.4%	724	849	125	117.3%
30～34歳	433	533	100	123.1%	441	537	96	121.8%	874	1,070	196	122.4%
35～39歳	469	697	228	148.6%	474	653	179	137.8%	943	1,350	407	143.2%
40～44歳	436	719	283	164.9%	423	520	97	122.9%	859	1,239	380	144.2%
45～49歳	453	734	281	162.0%	430	528	98	122.8%	883	1,262	379	142.9%
50～54歳	481	660	179	137.2%	463	561	98	121.2%	944	1,221	277	129.3%
55～59歳	484	638	154	131.8%	440	509	69	115.7%	924	1,147	223	124.1%
60～64歳	372	416	44	111.8%	362	410	48	113.3%	734	826	92	112.5%
65～69歳	297	326	29	109.8%	329	328	-1	99.7%	626	654	28	104.5%
70～74歳	324	323	-1	99.7%	378	380	2	100.5%	702	703	1	100.1%
75～79歳	289	286	-3	99.0%	396	397	1	100.3%	685	683	-2	99.7%
80～84歳	175	172	-3	98.3%	271	272	1	100.4%	446	444	-2	99.6%
85歳以上	100	100	0	100.0%	339	339	0	100.0%	439	439	0	100.0%
不詳	10	10	0	100.0%	5	5	0	100.0%	15	15	0	100.0%
総数	6,763	8,105	1,342	119.8%	7,064	7,782	718	110.2%	13,827	15,887	2,060	114.9%

資料：国勢調査

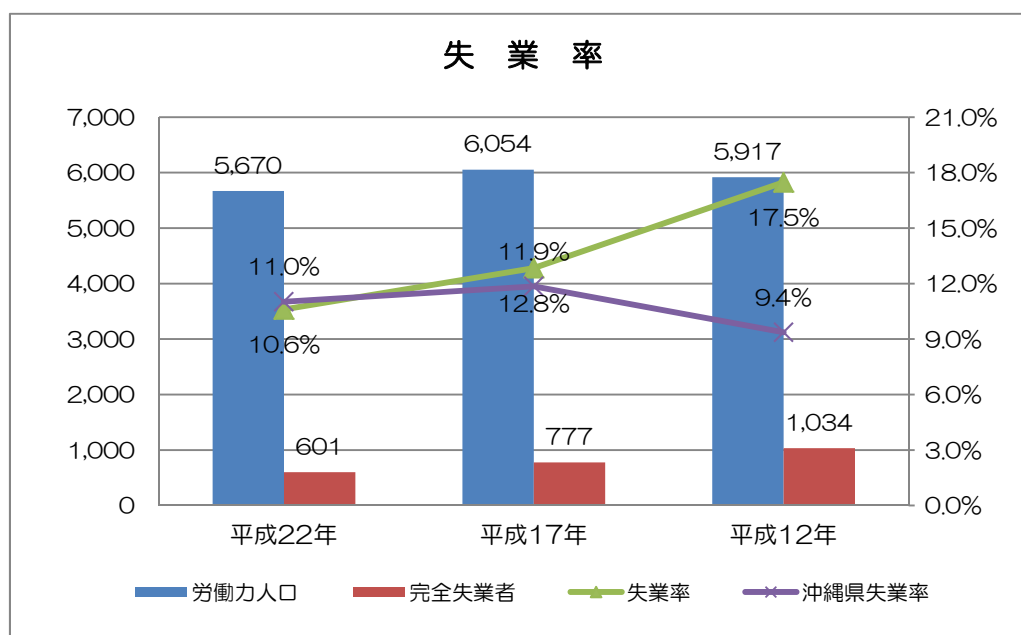
(5) 失業率

嘉手納町の失業率は、平成12年に17.5%という県平均を大きく上回る失業率であったが、その後好転し、平成22年には10.6%と、県平均の11.0%よりわずかに低い値となっている。しかし、沖縄県は日本平均を大幅に上回っている。

■失業率の推移

		労働力人口	完全失業者	失業率
嘉手納町	平成22年	5,670	601	10.6%
	平成17年	6,054	777	12.8%
	平成12年	5,917	1,034	17.5%
沖縄県	平成22年	650,307	71,669	11.0%
	平成17年	635,849	75,372	11.9%
	平成12年	613,002	57,440	9.4%

資料：国勢調査



2. 産業

(1) 農業

平成 22 年の専業農家数は 15 戸、兼業農家数は 9 戸（第一種：7 戸、第二種：2 戸）合計 24 戸となっている。経営耕地面積は 23ha、一戸当たりの経営耕地面積は 1.0ha/戸となっている。

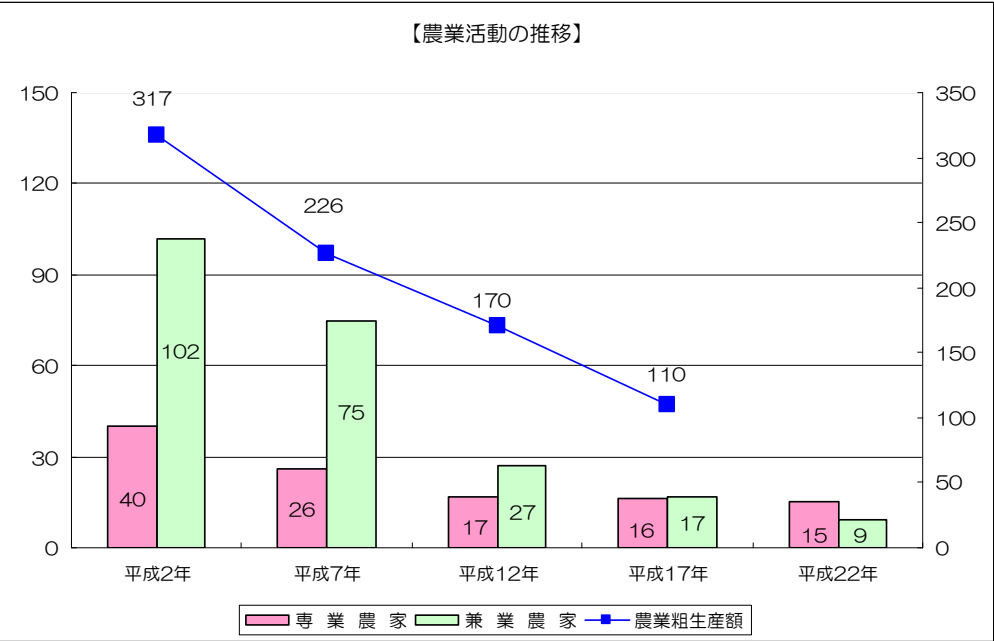
農家数、経営耕地面積は共に年々減少傾向となっている。

農業粗生産額は、平成 2 年（317 百万円）から平成 17 年（110 百万円）にかけて年々減少傾向となっている。（平成 22 年の農業粗生産額は未発表）

■ 農業活動の推移 (単位：戸、ha、ha/戸、%、百万円)					
	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
専業農家	40	26	17	16	15
兼業農家	102	75	27	17	9
第一種兼業農家	12	5	8	5	7
第二種兼業農家	90	70	19	12	2
合 計	142	101	44	33	24
経営耕地面積	74	51	42	35	23
一戸当り経営耕地面積	0.5	0.5	1.0	1.1	1.0
農業粗生産額	317	226	170	110	-

※販売農家数のみ記載。
※専業農家は、全収入を農業収入のみの農家
※第一種兼業農家は、農業以外の仕事で収入を得ている農家のうち、農業での収入が全収入の50%以上の農家
※第二種兼業農家は、農業以外の仕事で収入を得ている農家のうち、農業での収入が全収入の50%以下の農家
※平成22年の「農業粗生産額」は記載なし

資料：農業関係統計



(2) 商業

平成 19 年の商店数(小売業)は 147 店舗、従業者数は 762 人、年間販売額は 9,634 百万円となっている。

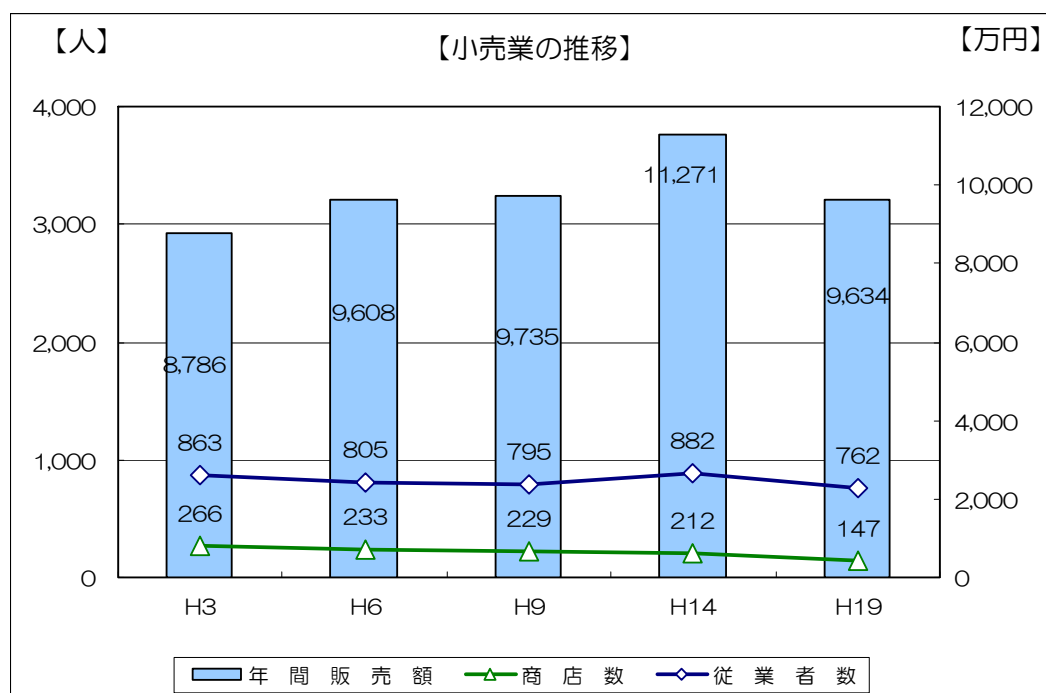
平成 3 年からの推移をみると商店数は年々減少傾向となっている。従業者数は平成 14 年をピークに減少傾向となっている。年間販売額は平成 14 年の 11,271 百万円をピークに増減を繰り返している。

■ 小売業の推移

(単位：人、百万円)

	H3	H6	H9	H14	H19
商 店 数	266	233	229	212	147
従 業 者 数	863	805	795	882	762
年 間 販 売 額	8,786	9,608	9,735	11,271	9,634
従業者 1 人当たり年間販売額	10.2	11.9	12.2	12.8	12.6
1 店当り従業者数	3.2	3.5	3.5	4.2	5.2

資料：沖縄県の商業



(3) 工業

平成 22 年の工業状況は、工場数は 9 事業所、従業者数 105 人、出荷額 904 百万円となっている。

工業の推移をみると、平成 17 年から増加傾向にあり、平成 20 年の 15 事業所がピークに平成 22 年には 9 事業所に減少している。

従業者数については、948～1,132 人のほぼ横ばいで推移している。

出荷額は平成 17 年（11,964 百万円）をピークに平成 22 年まで増減を繰り返している。

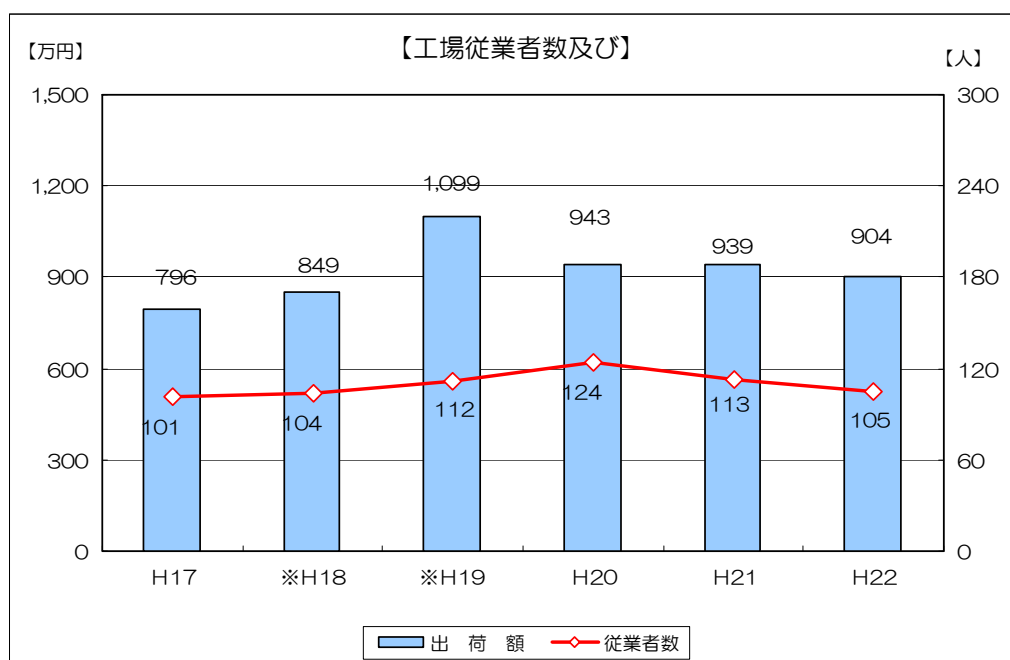
■工場数の推移

(単位：人、百万円)

	H17	※H18	※H19	H20	H21	H22
工場数	8	10	11	15	11	9
従業者数	101	104	112	124	113	105
出荷額	796	849	1,099	943	939	904
粗付加価値額	471	495	715	517	559	553
1工場当たり従業者数	12.6	10.4	10.2	8.3	10.3	11.7
1人当たり粗付加価値額	4.7	4.8	6.4	4.2	4.9	5.3

注) ※印の年は裾切調査。他は全数調査。

資料：沖縄県の工業



3. 建物

(1) 新築状況

1) 建築概要書による新築状況

平成18年から平成22年の5年間における新築状況をみると、新築件数の合計は197件、敷地面積が88,954.0㎡となっている。建物用途別でみると住宅(175件)が最も多く、商業(14件)、工業、その他(共に4件)の順となっている。

地区別でみると嘉手納での新築件数(75件)が最も多く、次いで水釜(70件)、屋良(51件)、兼久(1件)の順となっている。

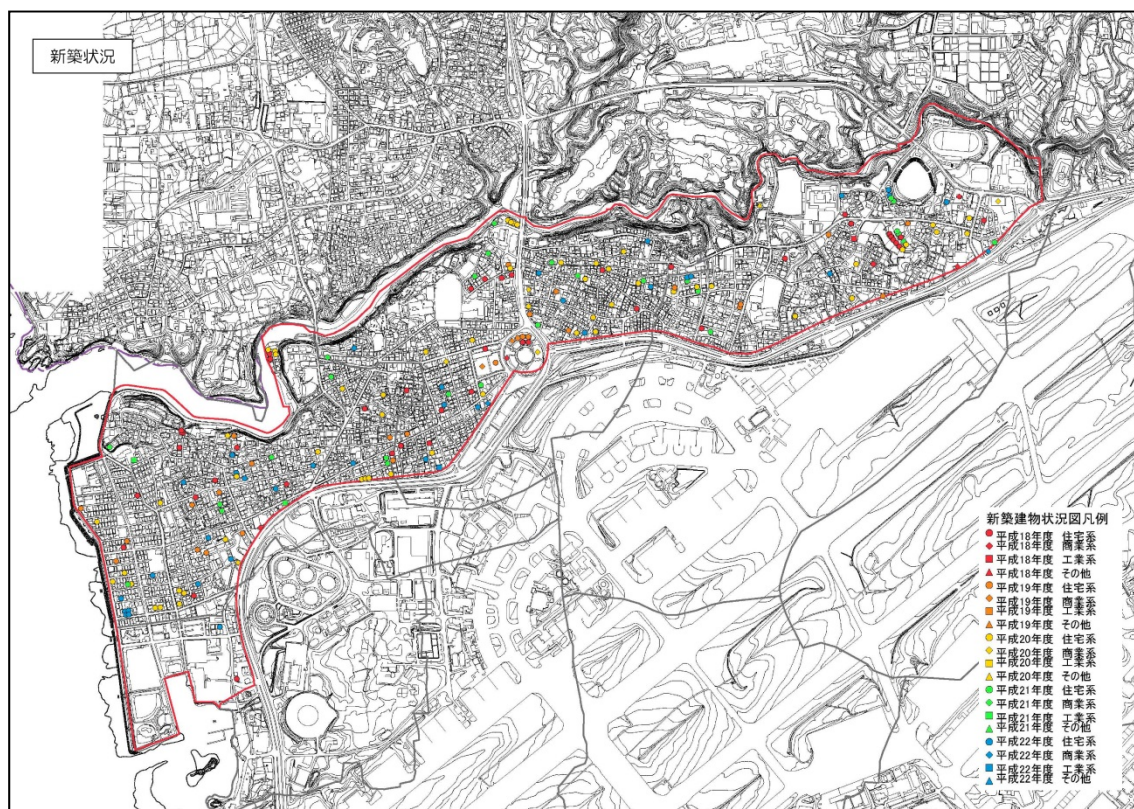
中部広域都市計画区域(沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町)と比較すると、用途地域指定区域及び用途地域指定外区域の平均建ぺい率、平均容積率は高い状況となっている。

■地区別新築件数および新築面積 (H18～H22年度)

地区名	新築件数					敷地面積 合計 ㎡	平均敷地 面積 ㎡	建築面積 合計 ㎡	平均建 ぺい率 %	延床面積 合計 ㎡	平均 容積率 %
	合計 件	住宅 件	商業 件	工業 件	その他 件						
兼久	1	1	0	0	0	210.0	210.0	95.8	45.6	149.9	71.4
屋良	51	43	4	1	3	23,426.1	459.3	8,041.8	34.3	14,663.8	62.6
嘉手納	75	64	8	2	1	42,899.5	572.0	23,473.1	54.7	51,638.4	120.4
水釜	70	67	2	1	0	22,418.4	320.3	8,399.2	37.5	14,768.7	65.9
用途地域指定区域計	197	175	14	4	4	88,954.0	451.5	40,009.9	45.0	81,220.8	91.3
東	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
用途地域指定外区域計	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
嘉手納町合計	197	175	14	4	4	88,954.0	451.5	40,009.9	45.0	81,220.8	91.3
中部広域											
用途地域指定区域計	2,936	2,651	173	22	90	1,719,605	585.7	462,439	26.9	885,552	51.5
用途地域指定外区域計	1,587	1,381	89	46	71	3,272,816	2,062.3	418,715	12.8	458,161	14.0

(注) 増、改築は除く。

資料:「建築計画概要書」



2) 住宅着工件数

嘉手納町における住宅着工件数の5年間の状況をみると、持家は約15～20件で推移しており、貸家は平成20年度に70件であったが、それ以降は約20～30件で推移している。

中部広域都市計画区域の着工件数と沖縄県全体の着工件数を比較するとかなり低い状況となっている。その中でも嘉手納町は、更に低い状況となっている。

■住宅着工件数

		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		戸数	床面積 (㎡)	戸数	床面積 (㎡)	戸数	床面積 (㎡)	戸数	床面積 (㎡)	戸数	床面積 (㎡)
嘉手納町	持家	20	3,709	14	2,111	22	2,392	15	2,069	22	2,760
	貸家	70	5,352	23	1,663	29	2,645	25	2,528	21	1,461
	給与住宅	-	-	-	-	-	-	78	5,710	-	-
	分譲住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1,194
	計	90	9,061	37	3,774	51	5,037	118	10,307	55	5,415
中部広域 都市計画区域	持家	637	84,799	592	74,312	667	82,027	752	89,767	881	101,481
	貸家	1,924	148,029	2,208	154,243	1,878	121,587	1,950	130,959	1,971	129,429
	給与住宅	24	3,905	3	903	6	1,492	89	7,531	68	2,984
	分譲住宅	626	66,495	143	12,721	92	10,315	43	4,701	267	25,967
	計	3,211	303,228	2,946	242,179	2,643	215,421	2,834	232,958	3,187	259,861
沖縄県	持家	2,481	319,964	2,341	290,695	2,520	308,108	2,889	347,508	3,520	405,923
	貸家	8,232	543,203	7,971	507,242	7,395	448,020	7,382	456,193	8,536	521,906
	給与住宅	174	15,047	311	23,959	111	7,908	119	10,653	82	4,799
	分譲住宅	2,254	262,681	607	59,550	885	85,794	1,341	133,083	1,485	145,307
	計	13,141	1,140,895	11,230	881,446	10,911	849,830	11,731	947,437	13,623	1,077,935

資料：「住宅着工統計」

(2) 住宅

1) 住宅の所有関係

平成22年の嘉手納町における住宅の所有関係の内訳は、持ち家2,748世帯(55.7%)、民間借家1,504世帯(30.5%)、公的借家424世帯(8.6%)である。

平成2年からの推移をみると、嘉手納町の持ち家世帯数は増加しているが、持ち家率は減少傾向にある。公的借家及び民間借家については、世帯数と割合それぞれが増加傾向となっている。

嘉手納町、沖縄県及び中部広域都市計画区域の持ち家率を比較すると、三者とも減少傾向にあるが、沖縄県及び中部広域都市計画区域に比べ高い割合で推移している。さらに公的借家率については、沖縄県全体では中部広域都市計画区域の値は低いが、嘉手納町は、沖縄県及び中部広域都市計画区域より高い公的借家率となっている。

■住宅の所有の関係

住宅の所有関係		一般世帯	住宅に住む一般世帯									住宅以外 に住む 一般世帯
			主世帯								間借り	
			持ち家	持ち家 率	公的 借家	公的 借家 率	民間 借家	民間 借家 率	給与 住宅	給与 住宅 率		
H2	嘉手納町	4,081	2,615	64.1%	274	6.7%	1,141	28.0%	23	0.6%	25	3
	中部広域	70,994	45,513	64.1%	3,945	5.6%	20,237	28.5%	415	0.6%	551	333
	沖縄県	362,998	205,638	56.6%	23,753	6.5%	118,083	32.5%	10,306	2.8%	2,703	2,515
H7	嘉手納町	4,234	2,644	62.4%	255	6.0%	1,246	29.4%	14	0.3%	61	14
	中部広域	80,344	49,345	61.4%	4,857	6.0%	24,550	30.6%	466	0.6%	664	462
	沖縄県	403,060	219,841	54.5%	27,267	6.8%	139,214	34.5%	10,324	2.6%	3,758	2,656
H12	嘉手納町	4,406	2,669	60.6%	349	7.9%	1,280	29.1%	24	0.5%	81	3
	中部広域	88,776	53,510	60.3%	5,303	6.0%	27,096	30.5%	610	0.7%	1,885	372
	沖縄県	440,095	236,877	53.8%	29,872	6.8%	150,489	34.2%	11,101	2.5%	8,270	3,486
H17	嘉手納町	4,661	2,736	58.7%	367	7.9%	1,351	29.0%	19	0.4%	174	14
	中部広域	107,327	61,585	57.4%	6,263	5.8%	35,725	33.3%	688	0.6%	2,428	638
	沖縄県	486,981	250,228	51.4%	31,263	6.4%	182,223	37.4%	10,756	2.2%	8,723	3,788
H22	嘉手納町	4,933	2,748	55.7%	424	8.6%	1,504	30.5%	81	1.6%	156	20
	中部広域	113,459	62,010	54.7%	6,369	5.6%	40,420	35.6%	1,050	0.9%	3,041	569
	沖縄県	519,184	255,305	49.2%	30,445	5.9%	206,929	39.9%	11,335	2.2%	11,181	3,989

資料：国勢調査

2) 住宅の建て方

平成22年の住宅の建て方世帯数をみると、一戸建てが2,933世帯（61.7%）と最も多く、次いで共同住宅1,780世帯（37.4%）となっており、町内の住宅の形態はほぼこの2種類で成り立っていることが分かる。

平成2年から平成22年までの推移をみると20年間で共同住宅が659世帯の増加、一戸建ては31世帯増加となっている。総数では679世帯増なので、一戸建てと共同住宅の増加動向がそのまま総数に反映している。

沖縄県及び中部広域都市計画区域と比較すると、概ね嘉手納町と同様に一戸建てと共同住宅が大部分を占めている。一戸建ての割合については、沖縄県全体と比べ、中部広域都市計画区域は高く、その中でも嘉手納町は高いことが分かる。また、共同住宅の割合については、沖縄県全体に比べ、中部広域都市計画区域は低く、その中でも嘉手納町は低いことが分かる。

また、沖縄県、中部広域都市計画区域及び嘉手納町ともに、年々一戸建ての割合が減少し、共同住宅の割合が増加している。

■住宅の所有の関係

		総数	割合	一戸建て	割合	長屋建て	割合	共同住宅	割合	その他	割合
H2	嘉手納町	4,078	100.0%	2,902	71.2%	48	1.2%	1,121	27.5%	7	0.2%
	中部広域	70,661	100.0%	48,139	68.1%	1,027	1.5%	21,347	30.2%	148	0.2%
	沖縄県	360,483	100.0%	209,516	58.1%	7,317	2.0%	142,734	39.6%	916	0.3%
H7	嘉手納町	4,220	100.0%	2,855	67.7%	62	1.5%	1,292	30.6%	11	0.3%
	中部広域	79,882	100.0%	50,049	62.7%	1,337	1.7%	28,416	35.6%	80	0.1%
	沖縄県	400,404	100.0%	215,092	53.7%	7,091	1.8%	177,680	44.4%	541	0.1%
H12	嘉手納町	4,403	100.0%	2,841	64.5%	46	1.0%	1,511	34.3%	5	0.1%
	中部広域	88,404	100.0%	54,924	62.1%	923	1.0%	32,329	36.6%	228	0.3%
	沖縄県	436,609	100.0%	227,234	52.0%	6,556	1.5%	201,665	46.2%	1,154	0.3%
H17	嘉手納町	4,647	100.0%	2,935	63.2%	28	0.6%	1,683	36.2%	1	0.0%
	中部広域	106,689	100.0%	60,996	57.2%	1,122	1.1%	44,273	41.5%	298	0.3%
	沖縄県	483,193	100.0%	230,608	47.7%	6,085	1.3%	245,359	50.8%	1,141	0.2%
H22	嘉手納町	4,757	100.0%	2,933	61.7%	23	0.5%	1,780	37.4%	21	0.4%
	中部広域	109,849	100.0%	61,691	56.2%	798	0.7%	46,983	42.8%	364	0.3%
	沖縄県	515,195	100.0%	238,837	46.4%	5,182	1.0%	269,268	52.3%	1,857	0.4%

資料：国勢調査

3) 住宅の広さ

①1 世帯当たり述べ面積

平成 17 年の嘉手納町における 1 世帯当たり述べ面積は、持ち家 105.5 ㎡であるのに対して借家（公的借家・民間借家・給与住宅）は 50～60 ㎡代と、持ち家と借家の格差が大きい。

平成 2 年から平成 17 年までの推移をみると、住宅に住む一般世帯当たり延べ面積は、平成 2 年の 74.3 ㎡から平成 17 年の 84.8 ㎡へと約 10 ㎡増加しており、全体的に拡大傾向である。特に持ち家の面積増加は大きい。しかしながら給与住宅に縮小傾向が見られる。

平成 17 年の沖縄県と比較すると全ての住宅面積は沖縄県を上回っている。

■1世帯あたり述べ面積

(単位：㎡)

		住宅に住む一般世帯						間借り
		主世帯		持ち家	公的借家	民間借家	給与住宅	
H2	嘉手納町	74.3	74.6	89.1	58.8	45.4	60.7	21.9
	沖縄県	68.9	69.3	88.9	53.6	39.8	52.1	27.1
H7	嘉手納町	76.3	77.0	93.4	59.2	45.9	60.3	31.7
	沖縄県	70.9	71.3	94.4	54.0	39.6	51.8	31.3
H12	嘉手納町	84.1	84.9	104.1	57.3	52.8	52.0	43.7
	沖縄県	76.1	76.8	101.0	55.7	44.5	54.5	44.2
H17	嘉手納町	84.8	86.2	105.5	61.0	54.5	55.8	47.7
	沖縄県	75.7	76.2	102.3	56.9	45.0	54.6	46.0

※H22国勢調査では記載なし

資料：国勢調査

②1 人当たり述べ面積

平成 17 年の嘉手納町における 1 人当たり延べ面積は、最も高い持ち家が 34.9 ㎡で、借家（公的借家・民間借家・給与住宅）は約 20 ㎡となっている。

平成 2 年から平成 17 年までの推移をみると、全体的に増加傾向である。特に持ち家は 15 年間で約 10 ㎡増と増加幅が大きい。

平成 17 年の沖縄県と比較すると給与住宅以外は嘉手納町が沖縄県を上回っている。

■1人当たり述べ面積

(単位：㎡)

		住宅に住む一般世帯						間借り
		主世帯		持ち家	公的借家	民間借家	給与住宅	
H2	嘉手納町	22.1	22.1	24.6	15.5	16.7	18.6	9.6
	沖縄県	20.9	20.9	24.4	14.4	14.8	18.5	13.2
H7	嘉手納町	23.9	24.0	27.3	16.5	17.0	19.2	13.7
	沖縄県	22.8	22.9	27.3	15.2	15.7	20.3	14.0
H12	嘉手納町	27.6	27.8	32.1	18.7	19.8	21.9	16.8
	沖縄県	26.0	26.2	31.0	16.8	18.5	23.0	18.1
H17	嘉手納町	29.5	29.8	34.9	21.4	20.5	20.0	22.0
	沖縄県	27.6	27.7	33.6	18.0	19.5	23.6	18.9

※H22国勢調査では記載なし

資料：国勢調査

4) 公営住宅の状況

嘉手納町の公営住宅は、県営住宅が1団地182戸、町営住宅が3団地202戸、町民住宅が1団地35戸の合計5団地419戸である。これは町内世帯数4,937世帯(平成22年)の約8.5%を占めている。構造は全て耐火構造で、階高は中層から高層となっている。なお、5団地のうち4団地が字水釜に立地している。

また、少子高齢化に伴い公営住宅においても入居者の高齢化が進んでおり、65歳以上の高齢者がいる世帯の公的借家は年々増加傾向となっている。

■公営住宅一覧

	名称	間取り	面積	戸数	階数	竣工年	構造	家賃	所在地
県営	嘉手納高層秀宅	1号棟	2LDK	65.4㎡	49	S63	高層耐火構造	14,800~37,600円	嘉手納町字水釜566番地-1
		2号棟	3DK	67.4㎡	58				
		3号棟	2DK	56.1㎡	75				
			2DK	50.7㎡	23				
町営	屋良町営住宅		3DK	60.9㎡	24	H25	高層耐火構造	18,700~50,900円	嘉手納町屋良1丁目13番地-5
			3DK	60.8㎡	8				
			3LDK	70.1㎡	23				
	水釜第二町営住宅	A棟	3DK	65.9㎡	16	4	中層耐火構造	18,800~41,400円	嘉手納町字水釜6丁目14番地-1
		B棟	3DK	65.9㎡	16				
		C棟	3DK	65.9㎡	16				
		D棟	3DK	65.9㎡	16				
	水釜高層町営住宅	高齢者向	1LDK	61.8㎡	3	H11	高層耐火構造	24,300~53,300円	嘉手納町字水釜379番地-3
		一般向	3LDK	67.9㎡	57				
町民住宅	嘉手納町民住宅		1LDK	55.0㎡	5	H16	中層耐火構造	40,000円 47,000円 53,000円	嘉手納町字水釜441番地-2
			2LDK	65.0㎡	10				
			3LDK	73.0㎡	20				

■65歳以上のいる一般世帯の住宅所有状況

(単位：世帯)

		一般世帯	住宅に住む一般世帯								住宅以外に住む一般世帯
			主世帯						間借り		
				持ち家	公的借家	民間借家	給与住宅				
H2	総世帯	4,081	4,078	4,053	2,615	274	1,141	23	25	3	
	65歳以上親族がいる世帯	1,037	1,037	1,033	928	7	97	1	4	-	
H7	総世帯	4,234	4,220	4,159	2,644	255	1,246	14	61	14	
	65歳以上親族がいる世帯	1,231	1,229	1,222	1,093	17	111	1	7	2	
H12	総世帯	4,406	4,403	4,322	2,669	349	1,280	24	81	3	
	65歳以上親族がいる世帯	1,520	1,519	1,511	1,291	58	161	1	8	1	
H17	総世帯	4,661	4,647	4,473	2,736	367	1,351	19	174	14	
	65歳以上親族がいる世帯	1,733	1,732	1,719	1,442	79	198	-	13	1	
H22	総世帯	4,933	4,913	4,757	2,748	424	1,504	81	156	20	
	65歳以上親族がいる世帯	1,897	1,895	1,874	1,512	106	254	2	21	2	

資料：国勢調査

(3) 木造建物状況

嘉手納町の用途地域内における木造建物の状況は、全棟数 5,067 棟のうち木造建物は 806 棟で 15.9%を占めている。また延床面積では木造建物の延床面積は 38,191.3 m²で、全建物 718,611.7 m²のうち 5.3%を占めている。

地区別でみると嘉手納（557 棟）が最も多く、次いで水釜（140 棟）、屋良（108 棟）兼久（1 棟）の順になっている。

中部広域（沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町）の木造建物と比較すると、木造建物数の比率及び延床面積の比率が高い状況となっている。

■地区別木造率現況

単位=棟数：棟 比率：% 面積：m²

地区名	全建物棟数	全建物延床面積	木造建物			
			棟数	比率	延床面積	比率
水釜	1,924	276,789.9	140	7.3	7,527.5	2.7
兼久	75	40,163.0	1	1.3	69.4	0.2
嘉手納	2,121	277,608.2	557	26.3	24,931.8	9.0
屋良	947	124,050.6	108	11.4	5,662.6	4.6
嘉手納町合計	5,067	718,611.7	806	15.9	38,191.3	5.3
中部広域	102,225	14,285,866	8,331	8.1	464,267	3.2

資料：「H23都市計画基礎調査」

(4) 建物年齢状況

嘉手納町の用途地域内における建物の全棟数は 5,067 棟あり、そのうち水釜 1,924 棟、兼久 75 棟、嘉手納 2,121 棟、屋良 947 棟となっています。

その中で築年 30 年以上が 3,213 棟（63.4%）で最も多く、次いで 25～29 年 466 棟（9.2%）、20～24 年 348 棟（6.9%）の順となっています。

嘉手納町での建物は築年 30 年以上が半数以上を占めており、年々建物の新築状況が減少傾向となっています。

中部広域（沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町）の建物年齢を比較すると、30 年以上の建物の比率が高い状況となっている。一方、0～29 年までの建物については、比率は低い状況となっている。

■地区別建物年齢別現況

単位：件、%

地区名	全建物棟数	0～4年		5～9年		10～14年		15～19年		20～24年		25～29年		30年以上	
		棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率
水釜	1,924	48	2.5	128	6.7	104	5.4	127	6.6	148	7.7	221	11.5	1,148	59.7
兼久	75	1	1.3	1	1.3	8	10.7	10	13.3	5	6.7	22	29.3	28	37.3
嘉手納	2,121	88	4.1	82	3.9	64	3.0	93	4.4	98	4.6	126	5.9	1,570	74.0
屋良	947	39	4.1	86	9.1	64	6.8	97	10.2	97	10.2	97	10.2	467	49.3
合計	5,067	176	3.5	297	5.9	240	4.7	327	6.5	348	6.9	466	9.2	3,213	63.4
中部広域	102,225	6,523	6.4	7,388	7.2	9,932	9.7	10,217	10.0	10,874	10.6	10,587	10.4	46,704	45.7

資料：「家屋課税台帳」

4. 土地利用

(1) 土地利用現況

嘉手納町における土地利用現況は、その他の公的施設用地（1,241.1ha）が最も多く、次いで住宅用地（84.0ha）、道路用地（60.5ha）、公共・公益用地（52.9ha）の順となっており、町土の総面積 1,504.5ha のうち半数以上（82.5%）が米軍基地となっている。

自然的及び都市的土地利用では、自然的土地利用が 34.1ha、都市的土地利用が 1,470.4ha であり、殆どが都市的土地利用として利用されている。

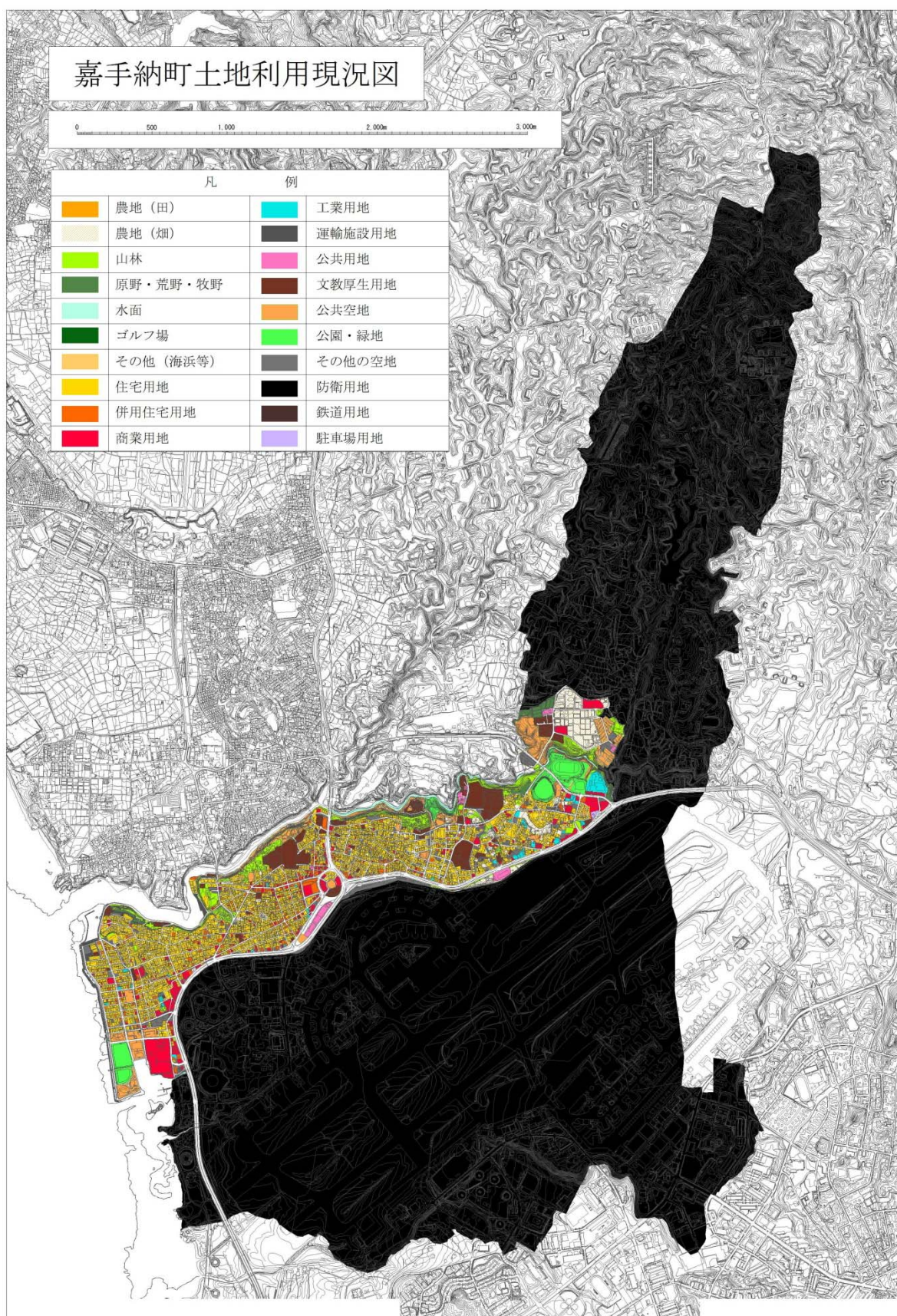
用途地域内では自然的土地利用が 20.2ha、都市的土地利用が 187.7ha であり、用途地域内の 90.3%が都市的土地利用として利用されている。

用途地域外では自然的土地利用が 13.9ha、都市的土地利用が 1,282.7ha であり、用途地域外の 98.9%が都市的土地利用として利用されている。

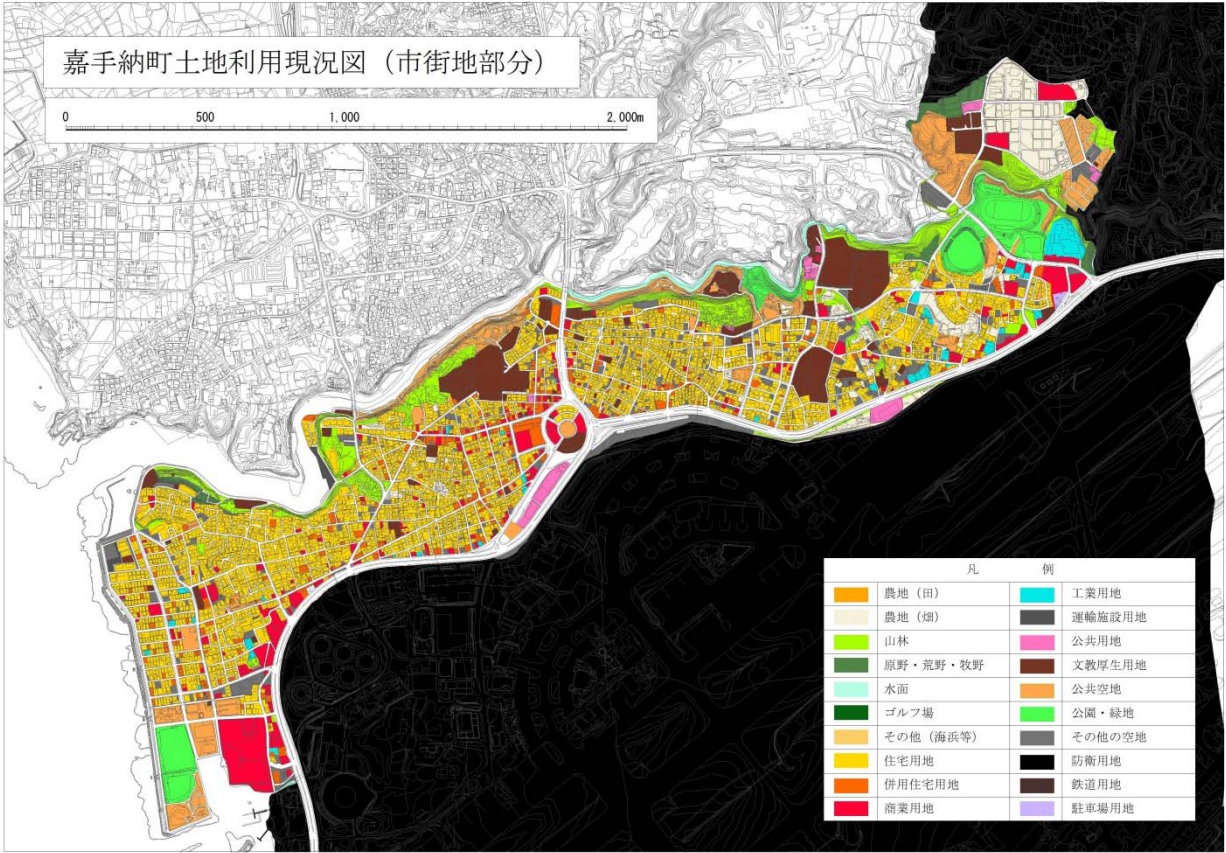
■土地利用現況		(単位：ha、%)					
		用途地域内		用途地域外		合計	
		面積	割合	面積	割合	面積	割合
自然的土地利用	田	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
	畑	4.3	2.1%	8.7	0.7%	13.0	0.9%
	山林	13.1	6.3%	3.5	0.3%	16.6	1.1%
	水面	1.5	0.7%	0.1	0.0%	1.6	0.1%
	その他の自然地	1.3	0.6%	1.6	0.1%	2.9	0.2%
	小計	20.2	9.7%	13.9	1.1%	34.1	2.3%
都市的土地利用	住宅用地	83.8	40.3%	0.2	0.0%	84.0	5.6%
	商業用地	13.5	6.5%	1.3	0.1%	14.8	1.0%
	工業用地	3.5	1.7%	0.3	0.0%	3.8	0.3%
	公共・公益用地	41.9	20.2%	11.0	0.8%	52.9	3.5%
	道路用地	35.3	17.0%	25.2	1.9%	60.5	4.0%
	交通施設用地	0.5	0.2%	0.0	0.0%	0.5	0.0%
	その他の公的施設用地	0.0	0.0%	1,241.1	95.7%	1,241.1	82.5%
	その他の空地	9.2	4.4%	3.6	0.3%	12.8	0.9%
小計		187.7	90.3%	1,282.7	98.9%	1,470.4	97.7%
合計		207.9	100.0%	1,296.6	100.0%	1,504.5	100.0%

資料：「H22都市計画基礎調査」

※その他の公的施設用地（米軍用地）については、統計上 1,246ha（82.5%）の面積であるが、平成 22 年都市計画基礎調査における土地利用面積を記載している。



資料：「H22 都市計画基礎調査」



資料：「H22 都市計画基礎調査」

(2) 土地利用法規制現況

嘉手納町の全域が都市計画区域に指定されており、また、206.8ha の用途地域が指定されている。

農業地域が 143.2ha 指定されている。

森林地域は 258ha 指定されており、そのうち保安林が 2ha 指定されている。

鳥獣保護区特別保護地区が 8ha 指定されている。

海岸保全区域が指定されており、そのうち指定延長が 1,660m、区域が 431,600 m² 指定されている。

漁港区域が 19ha 指定されている。

■土地利用法規制状況

	面積
用途地域	206.8 ha
農業地域	143.2 ha
森林地域	258 ha
保安林	2 ha
鳥獣保護区特別保護地区	8 ha
海岸保全区域（指定延長）	1,660 m
海岸保全区域（区域）	431,600 m ²
漁港区域	19 ha

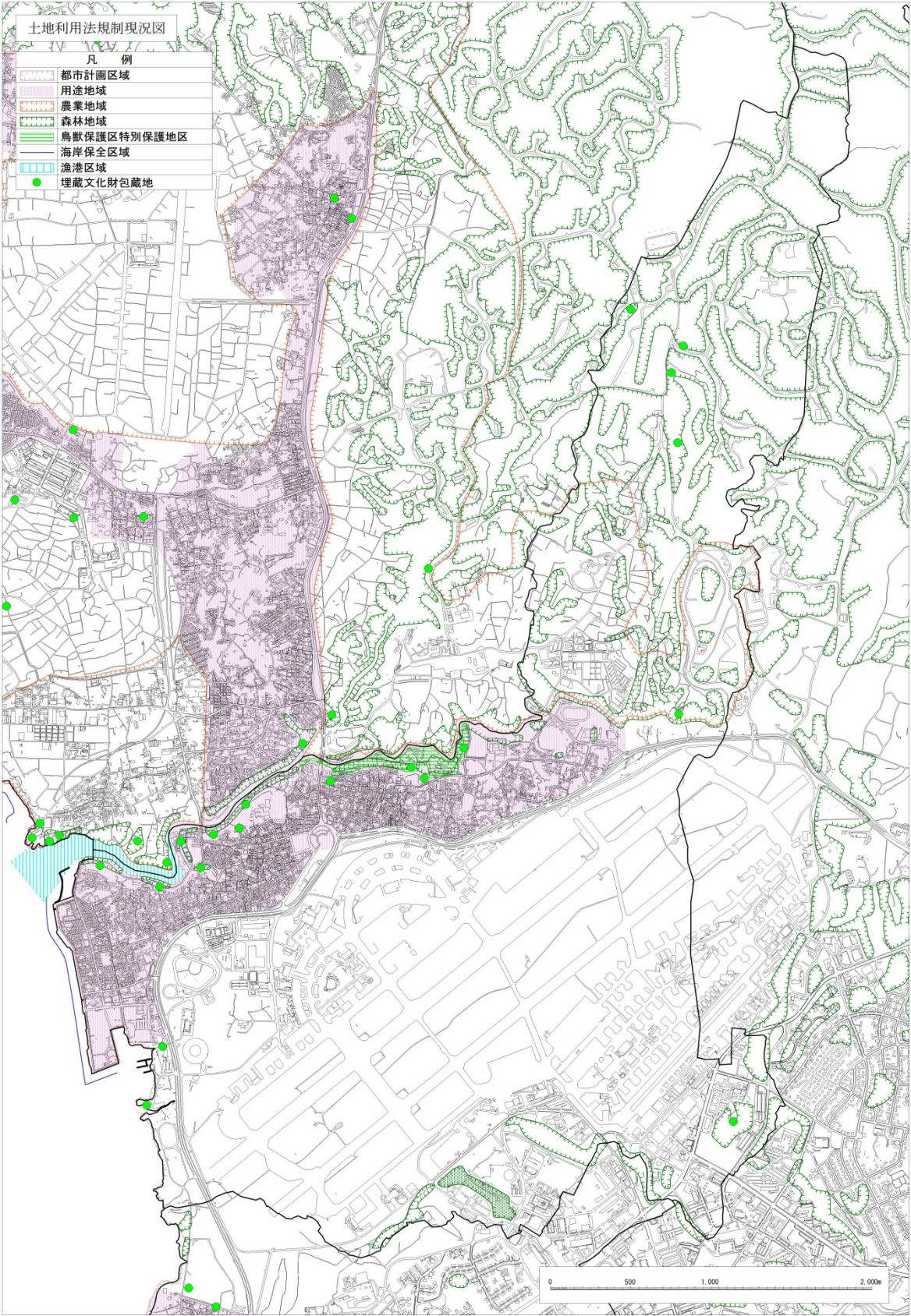
資料：沖縄県土地利用規制現況

※「農業地域」は図面上計測

■埋蔵文化財包蔵地

名称	種別	名称	種別
野国貝塚群	貝塚	屋良グスク	グスク
比謝川河口南丘陵遺物散布地	散布地	線刻画石版出土地	寺社跡
水釜貝塚	貝塚	字屋良の屋敷跡	集落跡
字水釜宇地原の古墳群	墓地	カニガー（A）	生産遺跡
嘉手納外耳土器出土地	散布地	カニガー（B）	生産遺跡
嘉手納貝塚	貝塚	字久得の旧屋敷跡	集落跡
嘉手納貝塚東遺跡	集落跡	ウシヌスルガマ	洞穴遺跡
字嘉手納西原の古墳群	墓地	イシンミヌガマ	嘉手納町
嘉手納グスク	グスク	国直グスク	グスク
字嘉手納御嶽前原の古墳群	墓地	野国貝塚群B地点	貝塚

資料：沖縄県土地利用規制現況



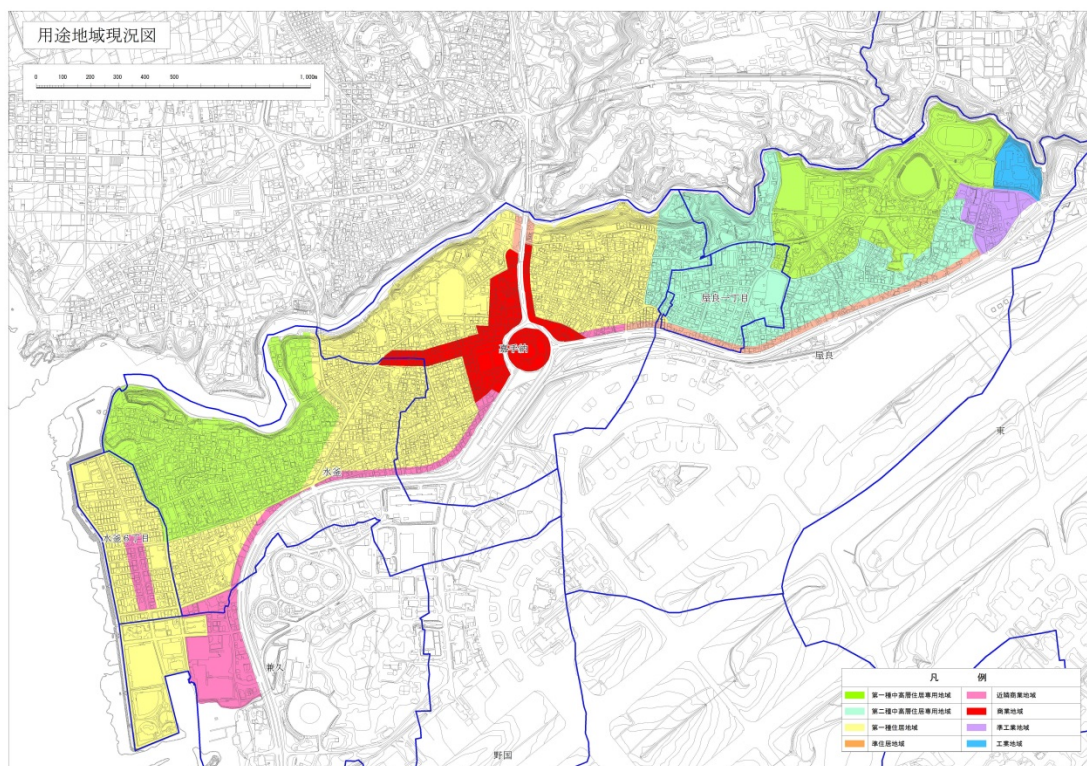
資料：「沖縄県土地利用規制現況図」

(3) 用途地域

嘉手納町における用途地域の指定状況は住居系（第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、準住居地域）が171.9ha（83.1%）、商業系（近隣商業地域、商業地域）が25.8ha（12.5%）、工業系（準工業地域）が9.1ha（4.4%）となっており、住居系が用途地域全体の8割を占めている状況となっている。

■用途地域の状況

			面積	割合
用途地域	住居系	第1種中高層住居専用地域	56.0 ha	27.1 %
		第2種中高層住居専用地域	33.0 ha	16.0 %
		第1種住居地域	79.1 ha	38.2 %
		準住居地域	3.8 ha	1.8 %
		小計	171.9 ha	83.1 %
	商業系	近隣商業地域	13.8 ha	6.7 %
		商業地域	12.0 ha	5.8 %
		小計	25.8 ha	12.5 %
	工業系	準工業地域	9.1 ha	4.4 %
		小計	9.1 ha	4.4 %
合計			206.8 ha	100.0 %

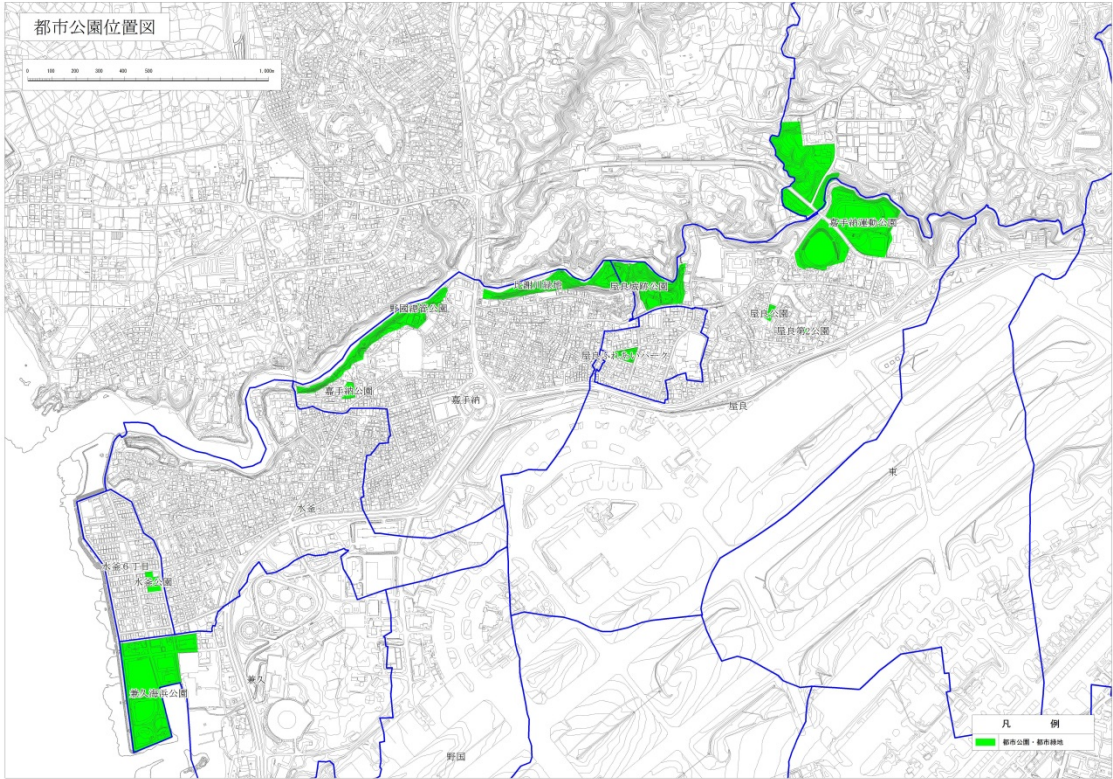


(4) 都市公園

嘉手納町には街区公園が5箇所（計画決定 1.63ha、供用開始 1.43ha）、近隣公園（計画決定 1.40ha、供用開始 1.40ha）、地区公園（計画決定 4.50ha、供用開始 4.50ha）、総合公園（計画決定 8.10ha、供用開始 7.23ha）、運動公園（計画決定 13.70ha、供用開始 8.54ha）がそれぞれ1箇所整備されており、また、都市緑地（計画決定 2.60ha、供用開始 2.78ha）が整備されている。

■都市公園

種別	名称		計画決定		供用開始	
	番号	公園名称	現面積 (ha)	当初計画決定 年月日	現面積 (ha)	開始年月日
街区公園	2・2・嘉1	屋良公園	0.20	S53.7.17	-	
	2・2・嘉2	屋良第二公園	0.34	S53.5.26	0.34	S60.3.30
	2・2・嘉3	屋良ふれあいパーク	0.40	S55.3.1	0.40	H7.3.1
	2・2・嘉4	水釜公園	0.42	S55.3.1	0.42	S60.3.30
	2・2・嘉5	嘉手納公園	0.27	S55.3.1	0.27	S60.5.2
		合計	1.63		1.43	
近隣公園	3・3・嘉1	野國總管公園	1.40	S52.7.11	1.40	H4.6.1
地区公園	4・4・嘉1	屋良城跡公園	4.50	S50.10.2	4.50	S60.3.30
総合公園	5・4・嘉1	兼久海浜公園	8.10	S55.7.19	7.23	S63.6.1
運動公園	6・5・嘉1	嘉手納運動公園	13.70	S55.7.11	8.54	S61.4.2
都市緑地	嘉1	比謝川緑地	2.60	S55.5.28	2.60	S60.3.30
		その他（未決定）			0.18	
					2.78	
合計			31.93		25.88	



(5) 空地の状況

嘉手納町全域に空地がみられ、最も空地が多いのが嘉手納 48,161.6 ㎡、次いで屋良 26,767.6 ㎡、水釜 17,460.8 ㎡の順となっている。

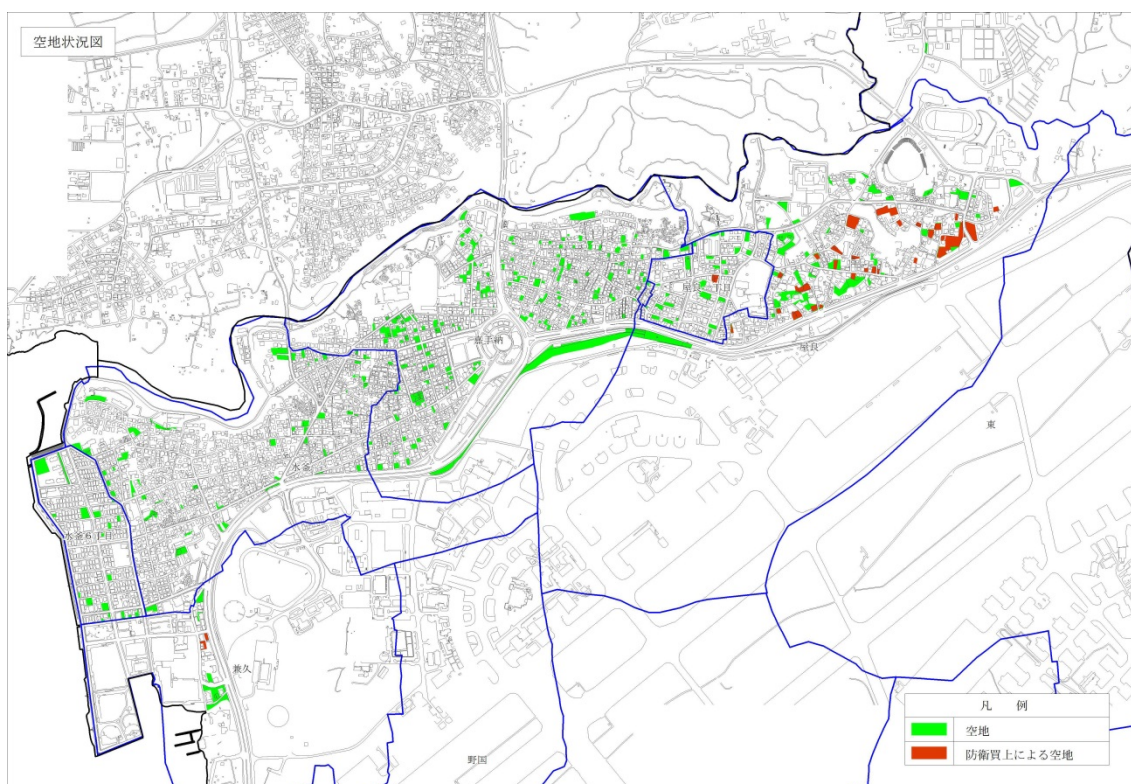
屋良、屋良一丁目、兼久においては、防衛買上用地による空地がみられる。

■空地の状況

(単位：㎡)

字名	空地	防衛買上用地	合計
久得	257.5	0.0	257.5
屋良	26,767.6	17,440.0	44,207.6
屋良一丁目	7,942.4	554.4	8,496.8
嘉手納	48,161.6	0.0	48,161.6
水釜	17,460.8	0.0	17,460.8
水釜6丁目	7,513.0	0.0	7,513.0
兼久	4,550.0	667.9	5,217.9
合計	112,653	18,662	131,315

※面積は図面上計測による



※防衛買上用地は平成 25 年 4 月 1 日時点

(6) 4m未満道路に接続している住宅地

嘉手納町には、4m未満道路の狭隘道路が多くみられ、2項道路の要件を満たさない道が数多く存在し、接道要件を満たさないため、建物の新築や建替えが出来ない問題や、市街地内に空地も点在するなど、限られた土地で有効利用を図る上からも、土地利用上の矛盾が生じている。

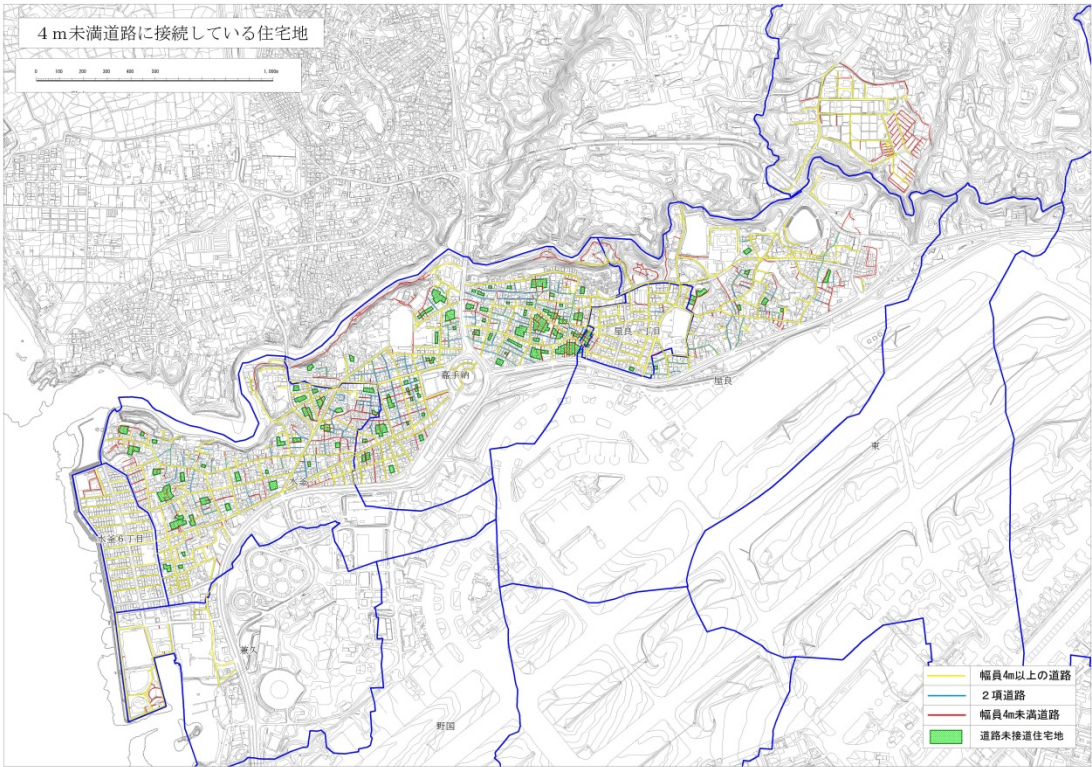
特に字嘉手納においては、宅地面積の13.1%が未接道住宅地となっている。

■4m未満道路に接道する住宅地の面積

	宅地面積 (㎡)	未接道宅地面積 (㎡)	割合
字水釜	324,500	22,470	6.9%
字嘉手納	273,300	35,860	13.1%
屋良一丁目	58,510	431	0.7%
字屋良	191,100	6,075	3.2%
合計	847,410	64,836	7.7%

※面積は図面上計測による

※宅地面積は、土地利用上「住宅地」「商業地」「工業地」の合計



5. 道路

(1) 道路幅員状況

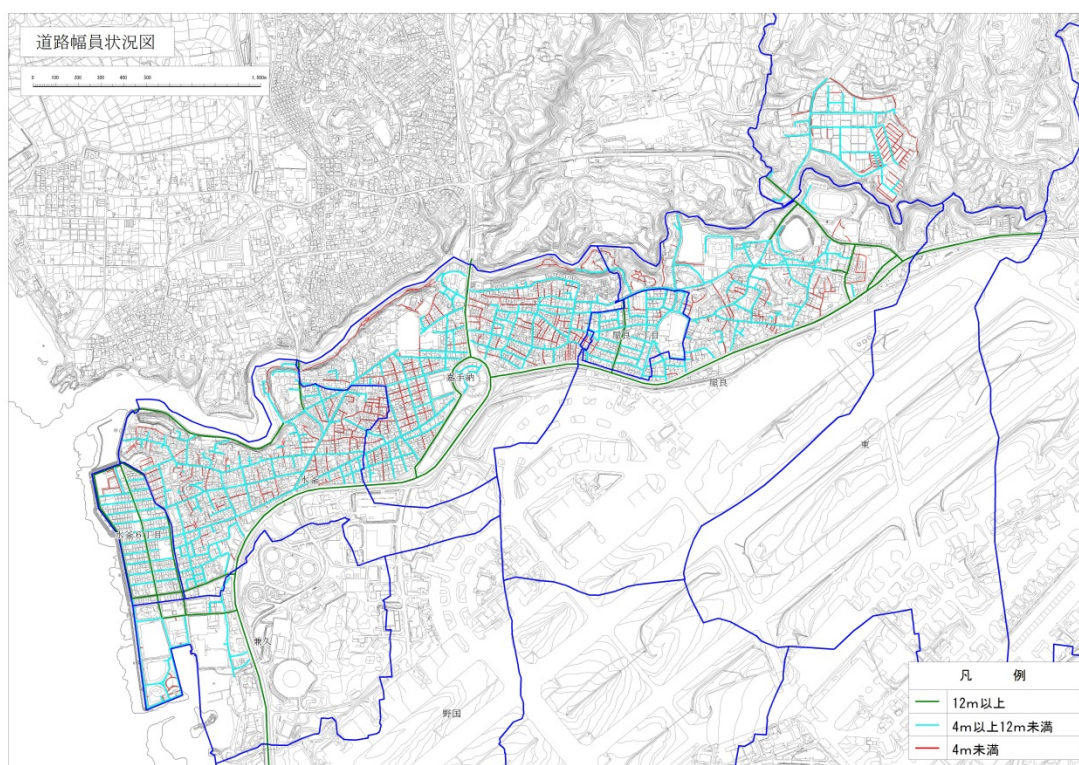
嘉手納町の道路幅員状況は 4m未満の総延長は 20,394.8m、4m以上～12m未満の総延長は 37,530.6m、12m以上の総延長は 12,871.9mとなっている。

市街地内での 4m未満道路が多く、一方通行の道路も多くみられる状況となっている。

■道路幅員の状況

道路幅員	総延長
4m未満	20,394.8 m
4m以上～12m未満	37,530.6 m
12m以上	12,871.9 m

※総延長は図面計測による数値



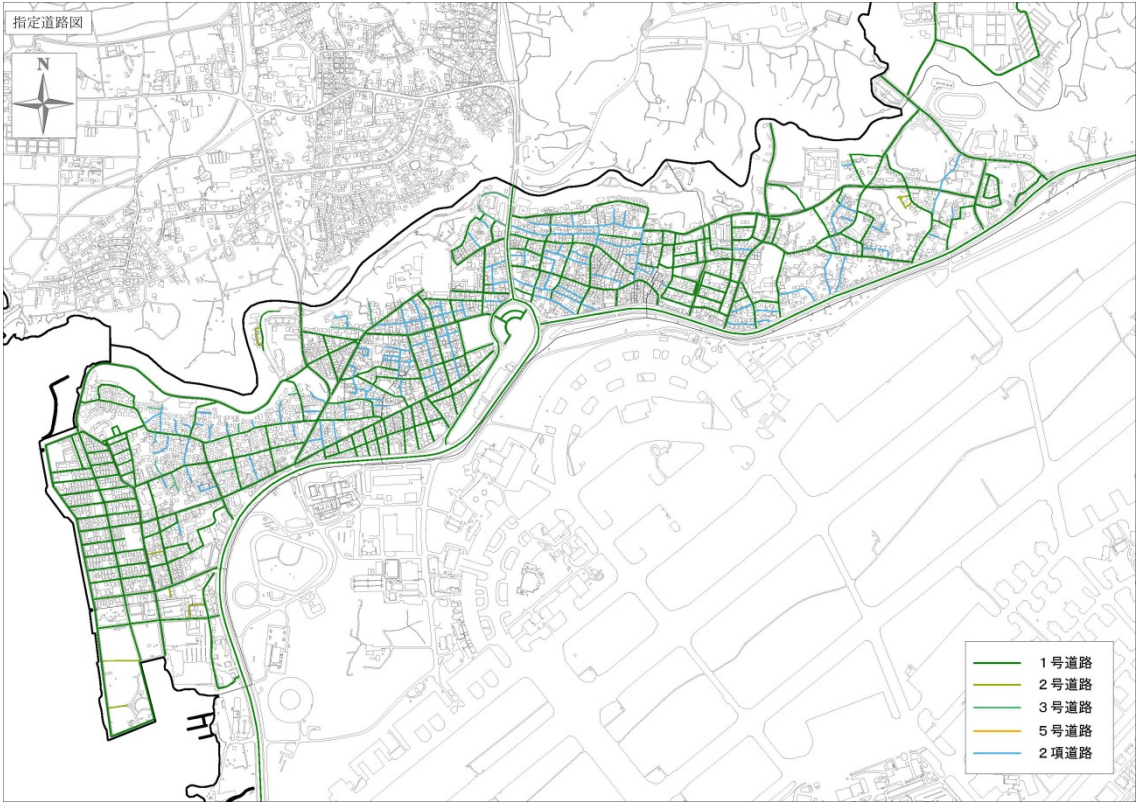
(2) 指定道路の状況

嘉手納町では、1号道路（173箇所、総延長 47,838）、2号道路（25箇所、5,602 m）、3号道路（12箇所、738m）、5号道路（2箇所、121m）、2項道路（113箇所、8,308m）の指定道路がある。

■指定道路の状況

		箇所	総延長
1項	1号道路	173	47,838 m
	2号道路	25	5,602 m
	3号道路	12	738 m
	4号道路	-	- m
	5号道路	2	121 m
2項		113	8,308 m

※総延長は図面計測による数値
※平成20年調査

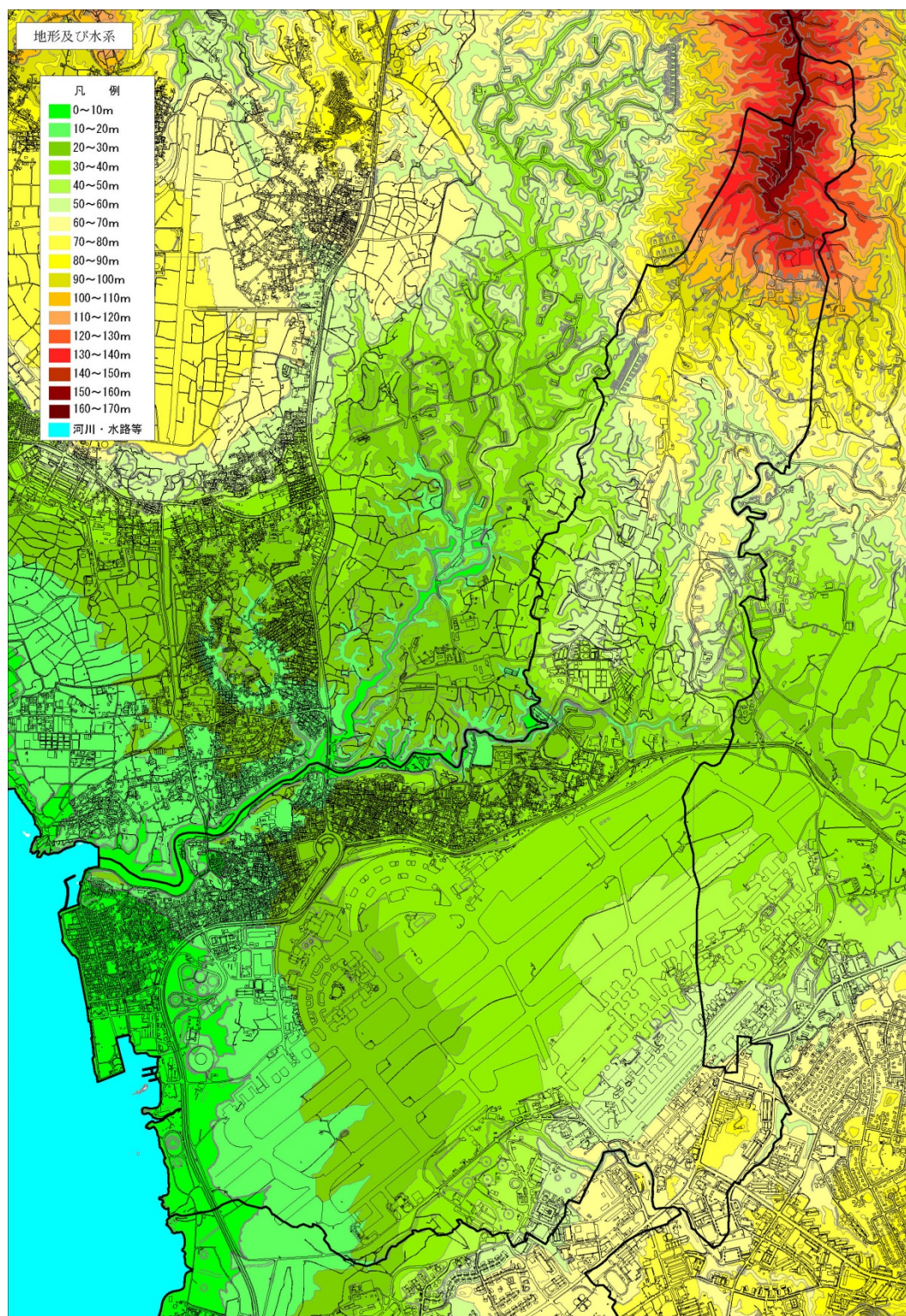


- 1号道路・・・道路法による道路
- 2号道路・・・都市計画法、土地区画整理法、都市再開発法等による道路
- 3号道路・・・建築基準法施行時に現に存する幅員 4m以上の道路
- 4号道路・・・2年以内に事業執行が予定される都市計画道路で特定行政庁が指定したもの
- 5号道路・・・特定行政庁が利害関係人の申請に基づき位置の指定をした幅員 4m以上の私道
- 2項道路・・・建物が現に建ち並んでいる 4m未満の道路で、将来 4m幅の拡幅が可能として特定行政庁が指定した道路。
- その中心から 2mの線を道路境界線とみなす。
- 片側が崖地などの場合は崖側から 4mの線を境界線とみなす。

6. 地形及び水系

嘉手納町の地形は、嘉手納飛行場が大部分を占める平坦な台地部と嘉手納弾薬庫地区になっている丘陵部に分かれ、最も高い地点は標高 165m となっている。

また、町域を東西に流れる比謝川は、沖縄市を源に東シナ海へ注ぐ本島最大の流域面積を有する河川であり、流量も豊富で二級河川の指定を受けている。



7. 土壌分布

嘉手納町の土壌分布状況は、乾性赤色土壌【又 1 統】（164.2ha）、細粒赤色土壌（63.7ha）、細粒黄色土壌（106.7ha）、礫質暗赤色土壌（138.3ha）、乾性赤色土壌【呉我山 1 統】（215.4ha）、適潤性赤色土壌（2.9ha）となっている。

■土壌分布の状況

土壌名称	面積
乾性赤色土壌（為又1統）	164.2 ha
細粒赤色土壌	63.7 ha
細粒黄色土壌	105.7 ha
礫質暗赤色土壌	138.3 ha
乾性赤色土壌（呉我山1統）	215.4 ha
適潤性赤色土壌	2.9 ha

※面積は図面計測による数値

資料：国土交通省 土地分類基本調査

